

緑の中の東屋、人が集う場所 カフェ&ダイニング『ガゼボ』

靉公園の四つ橋筋側入り口の真正面に店を構える、カフェ&ダイニング『ガゼボ』。靉公園の緑を眺めながらゆっくりと落ち着ける空間は、店名の Gazebo の意味『緑の中の西洋風東屋』にぴったりのロケーション。近隣の船場界隈は、高層ビルと、瓦屋根の歴史ある建屋や神社仏閣が混在し、ビルの狭間のあ



ちこちに時代を語る史跡や石碑が数多いの街。そしてカフェ、レストラン、パン屋や洋菓子店などが目立つようになったファッショナブルな街でもある。

「人との繋がりを大事に。お客さんに喜んでほしい。」と語る、マダムガゼボことシェフ兼オーナーを務める辰巳弘子さん。大阪音大出身。実家の文化教室でのピアノ講師という経歴がある。およそ20年前から独立、レストランを営む。知らず知らずのうちに仲間が仲間を呼び、ライブの輪が広がった。なんばクリエイターファクトリーでイベントの



勉強の後、天満音楽祭を立ち上げたり、大阪経済大学の北浜黒正塾・社会人講座をプロデュースや、店での料理界・セミナー・はたまた落語会とあらゆるジャンルのイベントを企画主催してきました。

名物!! ジューシー肉厚『きつと勝つさんど』

「召しあがった方の夢がきつと叶いますように…」見た目も味もボリュームたっぷりの、こだわりのカツサンド。柔らかくてジューシーで肉厚の豚ヒレ肉のカツは、肉自体の上質さを物語る。そして福島区原の天然発酵食パンと、りんごをたっぷり使った自家製ソースも自慢の一品。名前はちょっとベタだが、ガゼボ一番の名物。靉公園のバラ祭に出展したり、さる学会では秋篠宮殿下や駐日オランダ大使も食されたという。そして、お持ち帰りのお土産としても喜ばれる事間違いなし。お持ち帰り用パッケージのラベルは大久保利通公の姿が描かれた浮世絵を購入してデザインしたもの。明治八年二月、世に言う「大阪会議」で、大久保以下木戸孝允、板垣退助、伊藤博文、井上馨の五名が北浜に集まった。この折、一同はサンドイッチを食した。これがカツサンドであったとしても不思議ではない…(講談師の4代目旭堂南陵氏が由来記を執筆) 地域の歴史を紹介していきたいと願うマダムガゼボの思いのこもる一品。



▲ ハーフ(4切れ): ¥600・レギュラー(8切れ): ¥1,250

もう一つの名物は『たまごかけごはん』で『あ・そ・ぼ』印象に残るネーミングである。岡山県産あきたこまちのご飯。卵は奈良県タナカエッグポートリーファーム産。清き水、豊かな緑、澄んだ空気、明るい太陽の素晴らしい自然に恵まれた農場で生まれ、数々の賞を受賞した卵。



醤油はたまごかけごはんには相性の良い島根の出雲、和歌山の湯浅、御坊で造られ厳選された3種から選べる。これらが『あ・そ・ぼ』という事のように。

ビールもある。マダムガゼボブランドの地ビール『MIO 滞ビール』真面目ブリューアリー産。ラベルは、およそ百年前に淀川の治水に命をかけた大橋房太郎。「ときには音をたてて猛り狂う川の怒りを鎮め、水の恵みと共に暮らしたい・・・そんな祈りが叶えられ百年、私たちの思いは未来へとうけつがれてゆきます。」マダムガゼボ著。これもまた、地域の歴史を受け継いでゆきたいとの思いが伝わる一品。

人と人の繋がりを生み、人が集うマダムガゼボ

店舗が入居しているビルは同級生がオーナーのテナントビル。同窓会ではお世話会の中で入居出来る事がトントン拍子に決まった。店内を飾る壁画、これも友人に直接描いてもらったもの。多くのアーティストに支えられたライブ活動。名物の



『きつと勝つさんど』や『たまごかけごはん』で『あ・そ・ぼ』のネーミングも友人の発案。そしてこれら大阪の名物としてもっと広めようという友人の応援で、各地で開かれる物産展やイベントに積極的に出展。…と、今まで多くの友人、同窓生に支えられてきた。

「食と人との懸け橋。出会いと情報交換の場。英気を養い刺激を受けて元気になれる場。20年間やってお客さんからの手応えを感じるようになった。次に…助けて頂いた皆さんに恩返しし、生きざまを残し伝えたい。」と語るマダムガゼボ。そして始めたのが自分たちの出身地である「船場」、この大阪の「浪速」とはまた違った文化圏の歴史と文化をを後世に残す事。

『きつと勝つさんど』『MIO 滞ビール』のラベルもその一つ。様々な事に取り組むマダムガゼボはこう云う。「不思議な縁から、自然と『道』ができ、それはすなわち『やりなさい』という事だと思えます。だから私は『やり遂げたい』んです。」静かな口調の中に「強い信念」と「底知れぬバイタリティ」を感じとる事ができる。船場から大阪に、いや日本中に「きつと勝つ!」とエールを届けている気がする。

※ 誌面スペースの都合上、取材記事を一部省かせて頂いております。
全文はマッチングサイト「元気!こうせビジネスタウン」でご覧下さい。
URL: <http://www.genki-cosei-bz-town.jp/>

カフェ&ダイニング『ガゼボ』

有限会社 ガゼボ

所属: 大阪市女性起業家情報交流協会会員

代表 辰巳 弘子

〒550-0004 大阪府大阪市西区靉本町1丁目6-17
(大阪市営地下鉄本町駅2番、25番出口、徒歩3分。駐車場なし)

営業時間(平日): 11:30~14:00・17:30~23:00
年中無休

(注: 夜はご予約のみ賜ります。貸切パーティや食事会、セミナー・発表会等にご利用下さい。コンセプトは『貴女流のパーティしてみませんか?』)
Tel・Fax: 06-6459-2746

E-mail: goyoyaku@dining-gazebo.com

web サイト: <http://www.dining-gazebo.com>

事業概要: カフェ&ダイニング、デパート等の各催事等に出展。
ガゼボのケータリング: お弁当・きつと勝つさんど・パーティ料理のケータリング(企業やコンサート業界。主たる得意先: 朝日広告社・共同大阪等)

